



綾北中学校だより

綾瀬市立綾北中学校
校長 熊本 丈力

第51回卒業証書授与式が行われました

3月12日（水）に第51回卒業証書授与式が行われました。

厳粛な雰囲気の中、221名の卒業生に卒業証書が授与されました。式に臨む堂々とした姿勢は、まさに卒業生にふさわしいものでした。卒業生たちは綾北中学校での思い出を胸に、それぞれの道へ巣立っていきま

した。以下に、「校長のこぼれ」および「卒業生のこぼれ」の一部を紹介します。

校長のこぼれ

義務教育の終わり、巣立ちの時です。たくさん思い出を胸にいよいよ旅立つ皆さんへ、今日は最後のメッセージを贈ります。皆さんへの最後のメッセージは「今を自分らしく生き抜いてほしい」ということです。

「今をいかに生きるか」というのは誰もが避けて通れない大きなテーマです。生きていくことはいつも新しい目標に向かって挑戦することです。若さとは挑戦すること。その心意気をなくしたら若さを放棄したことになります。皆さんにはチャレンジの心があります。新しいものに挑戦すれば、そこには困難が立ちはだかることも多いでしょう。さ

らに今は、技術革新の著しい、また国際化の進展の一方で、先行き不透明の時代ともいわれます。この先、何が起るか、誰も想像できません。

でも「乗り越えられない壁はやってこない」という言葉もあります。壁は誰に対しても与えられ、その人にとって少しだけ難しい壁が立ちはだかるのです。実際に皆さんは初めて自分の人生を切り開く高校受験という壁を乗り越えました。

そして私が最も伝えたいことは、誰でも生れてきたことには意味があると思うのです。自分と同一人物はこの世にはいません。自分という人間は後にも先にも今の自分以外には現れないのです。一人一人の人間はかけがえのない存在です。そのかけがえのない自分や命を大切に、どうぞ、今の時代を自分らしく生き抜いてほしいと思います。この綾北中学校を卒業する皆さんならきっと大丈夫です。

私は皆さんの入学から卒業まで、長い人生の中ではあつという間の3年間でしたが、この濃密な3年間の片隅で皆さんの成長に立ち会えたことを嬉しく思います。

最後に皆さんにお願いです。皆さんが1年生の時に綾北中学校創立50周年のお祝いとしての式典を市の文化会館でやったことを覚えていてほしい。その時作った50周年記念誌には、当時の全校の生徒、皆さんの1年生のクラス別の写真も含め、これまでの本校

の歴史がたくさん掲載されています。本校を卒業した先輩たちは現在、この綾瀬で、あるいは日本で、また海外で活躍されています。皆さんはそういう先輩たちがたくさんいるということを感じておいてください。そしてこれから綾北中学校とこの地域、綾瀬を愛し、ずっと大切にしていきたいと思います。将来、綾瀬を離れるようになったとしても、いつまでも忘れられない故郷として、この母校である綾北中学校や綾瀬を心の中で大切にしていきたいと思います。

卒業生の皆さんが、母校 綾北中学校の卒業生としての自信と誇り、これから始まる新しい生活への希望を胸に、今という時代を一步一步自分らしく生き抜いていくことを心から祈っています。

卒業生のこぼれ

卒業生代表 阿部 惺七郎さん



毎日歩いた通学路、見慣れた広いグラウンド、友達とたわいもない話をした教室。三年間続いたこの綾北中学校での生活も、遂に終わりを迎えるときが来ました。今日までを振り返ってみると、一言では言い表せない密度の濃い日々でした。

慣れない制服を身にまとって臨んだ入学式。小学校とは違った雰囲気、戸惑いがある中、私たちの中学校生活が始まりました。

あつという間に三年生に進級して臨んだ修学旅行。コース別などに取り組んだ二泊三日の長旅で、仲間との距離が一気に縮まりま

した。後輩との連携が鍵となった体育祭。嬉しさや悔しさを分かち合い、中学校生活で一番の青春を味わいました。クラスで心が一つになることを目指した合唱祭。練習ではうまくいかなかったこともあったけれど、それぞれのクラスにしか作り出せない合唱になりました。

行事の思い出だけでなく、普段の学校生活でも、数えきれない思い出がありました。登下校で友達と交わした会話、授業で失敗したときに優しく励ましてくれたクラスメイトの姿、にぎやかなムードの休み時間、一人ひとりの印象に残っていることは違いますが、もう二度とつづめることができないかけがえのない思い出だということに変わりはありません。

また、私たちは三年間、「凡事徹底」のスローガンをもとに、当たり前のことを継続して行うことに励んできました。時にはだらけてしまったり、ふざけてしまったり、自分の楽しいことを優先してしまうことがありました。そんな時に、正しい道へ導いてくれたのが先生でした。反抗しても、わがままを言っても、諦めることなく寄り添ってくれました。先生方の指導が無ければ、今の私たちはありません。心より感謝申し上げます。

十五年間一日も欠けることなく、私たちの面倒を見てくれたお父さん、お母さん。保護者のサポートがあったからこそ、中学校生活を全速力で駆け抜けることができました。本当にありがとございます。これからも私達を温かく見守ってください。

さて、綾北中学校から旅立つ私たちは、それぞれの道へ歩み始めます。その道の途中で、今までにない困難や試練が待ち受けている

ことでしょう。しかし、私たちは一人ではありません。同じ学び舎で苦楽を共にしてきた友達とその経験は、今後の人生においても欠かせない存在です。

そして何よりも忘れてはいけないものが、「感謝」です。仲良くしてくれた仲間、お世話になった先生に、改めてありがとうの気持ちを伝えましょう。

春の訪れを感じる今日この日、本日をもって、私たちは中学校生活に終わりを告げます。ただ、人生はまだ続きます。綾北中学校で育ったことに誇りを持ち、自分を信じていければ、どんな困難でも乗り越えられるでしょう。中学校の思い出と感謝の気持ちを胸に、未来へ向かって一歩ずつ踏み出していきましょう。

PTA全委員会が行われました。

3月4日（火）、今年度最後となるPTA全委員会が行われました。各委員会に分かれ、今年1年間のふりかえりと情報交換を行うことができました。PTA本部役員ならびに各委員を引き受けていただいた保護者の皆様、1年間ありがとうございました。

各学年の学年通信発行状況

- 1 学年 第35号「1学年リクリエーション大会」
- 2 学年 第52号「令和6年度2学年学年学級費決算報告」

※ 3月13日（木）現在の発行状況です。